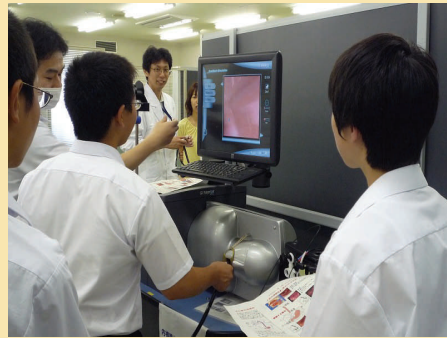




学長と語ろう！
(2009/06/04・18)



福島医大オープンキャンパス
(2009/07/18)



FD (Faculty Development)
(2009/09/05)

医療人育成・支援センターだより



2009年10月発行



さあ、飛びだそう！ 我らのフィールドへ！ ～夏休み医療・福祉体験プログラム～

本年度、初めて夏休みを利用した地域の医療福祉を学ぶ5つのプログラムを実施し、延べ36名の学生が県内の病院や施設での課外実習に参加しました。



「産科・小児科医師密着体験プログラム」

場所：南相馬市立総合病院・
かのキッズクリニック・平田小児科医院



「子のいのちを授かり育てる父母を疑似体験する早期ポリクリ（臨床実習）」

場所：福島県立医科大学託児所（すぎのこ園）



「子どもの健やかな成長と父母の役割を知る 3～4ヶ月健診体験プログラム」

場所：南会津町保健センター「御蔵入交流館」



「福島県の医療と福祉の現場体験学習」

場所：県内の各病院・老人福祉施設ほか



「平成21年度へき地医療体験研修（夏期）

～あいづにきてくだされ～
場所：奥会津地域の各病院・診療所



「福島県の医療と福祉の現場体験学習」に参加して
医学部1年 佐藤 孝洋(さとう たかひろ)
研修先：公立藤田病院、
特別養護老人ホーム「あつかし荘」

診察や手術の見学など、普段の授業では出来ないことを体験することができ、それによって、勉強に対するモチベーションを上げることが出来ました。
また、人と人とのつながりというものを日常から大切にしたいと思いました。



「子どもの健やかな成長と父母の役割を知る 3～4ヶ月健診体験プログラム」に参加して
医学部2年 安倍 麻美(あべ あさみ)
研修先：南会津町保健センター「御蔵入交流館」

現地に行って地元の人々の声を聞き、問題点を肌で感じる大切さを知りました。
実習を通して、一対一の関係を大切にできる、より高い人間性を持った医師が常に頼れる状況であってこそ、地域の方は医療に満足できるのだと感じました。



福島医大模擬患者（SP）さん養成会とは

医療現場での会話・コミュニケーション技術のレベルアップには実際の患者役を果たす協力者（模擬患者さん）の活用が有効とされています。

しかし、福島医大の学生たちは地元で模擬患者がいないことから、首都圏の模擬患者さんをお願いして年に数回来てもらって練習することしかできませんでした。このような背景から福島医大で学ぶ学生、研修医、若手医師のために模擬患者さんを養成することとなり、今年3月に岐阜大学医学教育開発研究センター教授 藤崎和彦先生をお招きし、初めてのセミナーを開催しました。

今年4月からは模擬患者になってくださるボランティアの方を対象に月に1～2回程度の講習会を開催し、本格的

に活動を開始しました。これまで毎月1～2回の医療面接シナリオの演習を行っています。



～こころの通った医療コミュニケーションのために～と題し、福島医大模擬患者の会 公開セミナーを開催しました。

9月26日（土）には福島市のコラッセふくしまを会場に、大阪からささえあい医療人権センターCOML（コムル）事務局長の山口育子さんをお迎えし、『地域に根ざした模擬患者さんの活用



活動報告

◆第1回診断推論セミナー



7月18日～19日に京都大学大学院医療疫学分野 教授 福原俊一先生をお招きし、第1回診断推論セミナーを開催しました。

患者さんのアウトカムをよくするにはどうしたらよいか？という視点に立ち、自ら考え、判断し、行動することの基本を集中的に

学べる機会を提供し、県内の研修医を中心とした参加者からは充実した内容への好評を得ました。

◆第1回福島アドバンスド・コース(FACE)

8月22～23日の日程で、磐梯熱海の緑風苑を会場に、第1回福島アドバンスド・コース(FACE)を開催しました。

セミナーは胸部単純X線読影・心電図診断・外傷初療・神経学的所見の取り方を集中的に系統だてて学べるような内容となっており、県内のみならず県外からも多くの参加があり、盛会のうちに終了しました。



◆出前講座

福島県立医科大学では高等学校からの要望に応じて大学の教員を派遣し、医学に関する講義を行う「出前講座」を開講しています。

今年はずでに4人の先生にご協力をいただき、県内4校で講座が開講されています。

- * 5月27日 福島県立安積黎明高等学校
「粘膜免疫から消化器疾患～病因解明への取り組み～」
講師：片倉 響子 先生
- * 5月28日 桜の聖母学院高等学校
「医学部って何をするとところ？
—皆さんの疑問にお答えします—」
講師：大谷 晃司 先生
- * 6月18日 福島県立富岡高等学校川内校
「空から救急室 福島県ドクターヘリ」
「市民の処置は高度医療に優る 心肺停止時の心肺蘇生」
講師：長谷川 有史 先生
- * 7月 2日 福島県立安積高等学校
「医の道に生きる —医師を目指す君たちへ—」
講師：大竹 徹 先生

「出前講座」は10月以降もまだまだ予定されています。

ご協力いただきました先生方に感謝申し上げます。



女性医師支援事業

女性医師復帰支援システムを利用し、早半年が過ぎようとしています。私が仕事復帰したのは子供が1歳4か月の時でした。復帰前はずっと一緒にいた子供と離れることに不安を抱いていましたし、非常勤勤務になると外来や検診のみの勤務になるであろうと思っていました。

そんな時、同じ科の女性医師の上司より女性医師復帰支援システムのことを教えていただきました。勤務時間や曜日を希望通りに自分で選べるので仕事復帰への不安がだいぶ軽減されました。また実際に働いてみて、大学病院ではチーム医療がしっかりしており、みんなで患者様をみていくため、非常勤でも病棟勤務や手術の助手に参加でき、いろいろと勉強になることも多く、充実した勤務をさせていただいています。

近年女医の割合は増えており、子育てと仕事の両立で悩む女医も増えてくると思います。子育てを楽しみながら仕事もスキルアップするように共に頑張りましょう。



産科婦人科 柳沼 由紀 先生



information



平成21年度福島県医師臨床指導養成講習会

日時 平成21年10月10日(土)～11日(日)
場所 福島県男女共生センター(二本松市)

多数のみなさんのご参加をお待ちしております



オーストラリア BOND大学

Dr. Anchita Ghosh 交流プログラム

日時 平成21年11月9日(月)～15日(日)
場所 福島県立医科大学内

※医学生・教員向けの行事を予定しています。

第2回福島アドバンスド・コース

FACE (Fukushima Advanced Course by Experts)

日時 平成21年11月14日(土)
場所 光が丘会館(福島県立医科大学 構内)

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター(CMECD)

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

Tel : 024-547-1047 / Fax : 024-547-1715

e-mail : CMECD@fmu.ac.jp / HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/cmeacd/index.html>

